



死ぬ日は 生まれる日にまさる キリスト教の死と葬儀

赤江弘之 著

「人は死んだらどうなるのか。」だれもが一度は考える普遍的なこの問いにどう答えるのか。この国に根付く日本的な死生観・宗教観を踏まえつつ、どのように人々の「死」と向き合っていけるのか、聖書を通して考える。

赤江弘之（あかえ・ひろゆき）

1943年、兵庫県高砂市生まれ。日本同盟基督教団・西大寺キリスト教会牧師。日本同盟基督教団理事長、東京キリスト教学園理事長、日本福音同盟副理事長などを歴任。「ゆりかごから天国まで」のテーマで市民教会を目指す。教会成長論文「瀬戸内ベルトライン計画」のもとに、教会が約10教会を開拓し、7教会が独立に至る。著書として、『聖書信仰に基づく教会形成』（株式会社ヨベル）、『私なりの「主の祈り」 主の祈り霊想・講解』『契約と贖いから味わう「神のことば」 私なりの「十戒」』『「神のことば」に導かれて告白する 使徒信条』（以上、いのちのことば社）などがある。

B6判 98頁 定価880円(本体800円+税)

ISBN978-4-264-04510-6 C0016

いのちのことば社 卸コード 05290